

## 遅習のすすめ

～ふつうに英語を学ぶ～

「もっと英語ができるようになりたい」——英語に少しでも興味のある人なら誰もがこのように思っているでしょう。本書はそんな人たちのために書かれたものです。

独習者のみならず、大学や各種学校で学んでいる人、そしてその両方の方法で学んでいる人を念頭において書かれています。その意味で、英語を学ぶあらゆる人に読んでもらいたいと考えています。

本書の目的の一つは、次のような理由で英語の勉強に自信をなくしている人たちを助けることです。

なかなか上達しない。

どれくらい上達したか判断する方法がわからない。

英語の勉強法について、ありきたりの方法しか知らない。

やる気が続かない、等々。

また本書では、英語学習に対する具体的なアプローチについて数多くの提案をするとともに、あわせて英語とその学習についての考え方を述べています。これはかなりの上級者や英語に自信のある人たちにも斬新に思われることでしょう。

もうひとつユニークな点は、英語を「ゆっくりと」学ぶ方法について書かれているということです。こんな本は今までほとんど（ひょっとしたら、まったく）なかったと思います。

今まで長い間英語を勉強してきたみなさんには、ちょっと変な本だと思われるかもしれません。なにしろ本屋に行って語学書のコーナーを見ると、並んでいるのは「英会話～週間征服法」「～日で覚える英単語××」「～の試験で…点が取れる」等々、著者が読者に、「短期間で」「～できるようになる」とか「～が覚えられる」などと太鼓判を押している本ばかりだからです。「私の本を買いさえすれば、あなたは～週間で～千語を覚えることができるでしょう」などと……

その他にも、約束まではしないにしても、自分の「メソッド」は素晴らしくて成功例も多いから、それを読めばあまり努力しなくても、表紙に書いてある程度には上達できるなどと（たとえば、アメリカ合衆国を自由に旅行できる程度の英語力とか）ほめかすものもあります。（ただし、その本を買うという条件付きで！）

現代社会に暮らす私たちは、何よりも「速い」解決法をほしがります。朝から晩まで私たちの前に現れるのは、「さくっとやろう！」「すごく簡単だから全然時間がかかりません」「お急ぎください！今お求めにならないければ、一生手に入れるチャンスを逃します」「ぼやぼやしないで！今買わないと来週には値上がりしてしまいます！」などのメッセージです。

今流行のダイエットビジネスは、まさに速さを求めるこんな大衆の欲求や、物事を簡単に行いたいという欲望のもとに繁栄しています。そして多くの場合、想像できないくらいのお金を儲けているのです。しかし、実際は（ほとんど）いつも、「～週間で～キロやせさせる」という約束は果たされず、消費者が落胆の憂き目を見ることになるのです。

本当にやせたいなら、本気になれば私たちはみんな体重を減らすことができます。今までの食生活を振り返って、それを改めればよいだけです。しかしこれには当然、長期間の努力が必要です。

一日二回飲めば信じられない速さで脂肪が消えてゆく魔法のダイエット・ドリンク……こんなうたい文句を読んで、私たちはそれを本当に信じているのでしょうか？私たちのほとんどは、こんなその場しのぎの解決法は、長い目で見れば、間違いなく失敗するとわかっているのです。少なくとも心の奥底では。

実際、このような製品の広告やパッケージを読むと、大きく目立つように書かれたうたい文句のわきに小さい字で書かれた部分があるのを発見します。「ただし～」とか「まれに～な場合もあります」「なお、個人差により～」等々。

おかしいことに、私がここで話題にしている語学書には、こんな小さい字で書かれた但し書きはありません。おそらく、ダイエットのうたい文句は身体に対するものであり、語学書のそれは頭に対するものだからでしょう。人間の頭の良さに個人差はありませんから。

外国語学習の場合、私たちをとりまく状況はダイエットと共通点がとても多いのです。ダイエットも外国語も、私たちは、ゆっくり着実に取り組まねばなりません。たとえ一か月で何千語を確実に覚えたとしても、かなりの確率でそれをすぐに忘れてしまうのです。ダイエットにたとえれば、何も覚えていない状態に「リバウンド」してしまうことだってありうるのです。

私は、読者のみなさんに短期間で英語をマスターさせるなどと約束したりはしません。この本は、ふつうの方法、つまり

「ゆっくりと」英語を学ぶことがいかに効果的かについて書かれた本です。

私がいいたいのは、こんなふうにはゆっくりと、ふつうのやり方で英語を勉強すれば、みなさんの英語力は、「読む / 書く / 聞く / 話す」の四技能とも、自然と著しく向上するだろうということです。学校に通っているか独学しているかは関係ありません。

また、英語が面白くなり、英語の勉強が楽しくなっていることに気づくはずで、強迫観念に駆られた速習ほど興味やモチベーションを壊してしまうものではありません。それが、約束されたほど速くなく、信じ込まされたようには痛みを伴わないものではないとわかった瞬間、興味とモチベーションは音を立てて崩れてしまうのです。

本書で私が提示するアドバイスはどれも、ふつうのやり方で勉強することがベースになっています。本書のいろいろな箇所、みなさんがこれまで英語を勉強してきた「(ひょっとしたら)ふつうでないやり方」に気づいていただければと思います。

また、ふつうのやり方で英語を勉強し始めれば、ゆっくり確実に、しかし目に見えるような速さで英語をマスターし始めることになるのだと気づいていただけることを願います。

もちろん、本書で私が英語の勉強法について説明するうえで、次のような表現を使うことがあります。「このテクニックを用いれば、あなたの英語力はすぐに向上するでしょう」あるいは「これはボキャブラリーを増やすとても簡単で効果的な方法です」。

読者のみなさんは、そのような言葉が出てきたら、それらは

あくまで「ゆっくり学び、定着させる」ことを前提において話していると理解してください。

冒頭であげたような本で約束されている類の「魔法のように速い」という意味で、「速い」といっている箇所は本書のどこにもありません。

確かに、苦もなく、ごく短期間で英語をものにしてしまう「天賦の才」をもった幸運で特別な人もいるにはいます。しかし、このような人は非常にまれです。おそらく一万人に一人もいないでしょう。

私たちのほとんどにとって、外国語の勉強はゆっくりと慎重に歩くべき道なのです。この道は歩けば歩くほど、興味やモチベーションを維持するのが難しくなります。

本書で私は、英語学習に対する興味とやる気を失わないよう多くのアドバイスをしながら、みなさんがこの道をゆっくり慎重に歩いていくお手伝いをしたいと思います。

2004年2月

クリストファ・バーナード  
Christopher Barnard